

「東京医科歯科大学献体の会」会員ならびにご関係の皆さまへ

臨床解剖学分野では、消化管外科学分野と共同で以下の研究を行っております。皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

研究課題名：左側気管気管支リンパ節の組織学的構造に関する研究

東京医科歯科大学医学部倫理委員会承認番号：M2017-274 番

データ収集期間：医学部倫理審査委員会承認後から平成 32 年 3 月 31 日まで

研究目的：

一般に、消化器癌の手術治療は、原発巣の切除に加えて、転移する可能性の高いリンパ節（所属するリンパ節）を含めて切除（＝郭清）を行います。食道癌根治手術は、頸部・胸部（縦隔）・腹部の領域におよぶ広範なリンパ節郭清を必要とする、生体への侵襲がきわめて大きい治療です。そのため適切なリンパ節郭清の範囲については再検討が行われ、最新の「食道癌取り扱い規約第 11 版」では郭清効果 index（転移割合×転移例での 5 年生存率）を指標に大幅にリンパ節の群分類の変更が行われ、左側気管気管支リンパ節（106tbL リンパ節）が大きく格下げになりました。本研究の目的は、左側気管気管支リンパ節周囲組織の解剖学的な特徴を明らかにし、群分類変更の妥当性を証明することです。

研究の対象：

本研究で用いる解剖体は、すべて生前に「東京医科歯科大学献体の会」に入会された方のご遺体です。その尊いご遺志に深く感謝するとともに、医学、歯学の教育ならびに研究に用いるという献体法（医学及び歯学の教育のために献体に関する法律）ならびに死体解剖保存法の精神を遵守して行って参ります。また、研究の実施に当たっては、日本解剖学会が定めた「解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドライン」に従って行います。

研究の内容：

本学臨床解剖学講座にて保存されている解剖体を用いて、縦隔の切片ブロックを作成し、顕微鏡にて観察を行います。特に左気管気管支リンパ節周囲の密性結合織の位置関係については詳細な検討を行います。染色方法としてはHE染色に加えEVG染色、Masson染色を行い、密性結合織とそれぞれのリンパ節構造の関係を詳細に観察・記録します。この研究によって、解剖学的な見地に基づいた裏付けがなされることによって、郭清効果 index のみではない、組織学的な見地から郭清範囲の提唱ができると考えています。

この研究により一定の成果がえられた場合には、その結果を学会や論文で発表しますが、画像閲覧時に匿名化を行い、患者さんの氏名や個人を特定できる情報は使用いたしません。登録患者様の同定や照会は、登録時に発行される登録番号を用いて行います。登録にあたっては、識別番号を設定し、連結可能匿名化を行います。参照した画像等は、匿名化の後、消化管外科にて10年間厳重に保管し、研究終了後に適切に扱わせていただきます。

本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、医学部臨床研究利益相反委員会に申告を行い、承認されています。またデータを二次的に利用する場合は新たな研究計画を立案し医学部倫理審査委員会で承認された後、改めてお知らせいたします。

なお、本研究に関してお問い合わせのある場合、下記宛先までご連絡ください。また、研究の途中であっても、解剖体の使用あるいは得られたデータの使用をお断りになる場合には直ちに本研究の対象から除外します。その場合にも故人および関係者の皆様の不利益となることは一切ありませんので、ご遠慮なくお申し出ください。

研究責任者：東京医科歯科大学 消化管外科学分野 東海林裕

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803-5254（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）

苦情・相談窓口：

東京医科歯科大学医学部総務掛

電話：03-5803-5096（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）